

**HA8000/10V、50V
ハードウェア アーキテクチャーガイド
(2004年7月1日～出荷モデル)**

本アーキテクチャーガイドの注意事項について

- ・本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複写することは固くお断りします。
- ・本書の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容については万全を期しておりますが、万が一不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、ご連絡頂けますようお願いいたします。
- ・本書の内容については ハードウェアの基本ブロック図の記載のみです。

登録商標・著作権

Microsoft®, Windows®は、米国 Microsoft Corp.の米国およびその他の国における登録商標です。

Pentium III, Xeon, Celeron は、Intel Corporation.の商標または登録商標です。

登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

本書では以降、

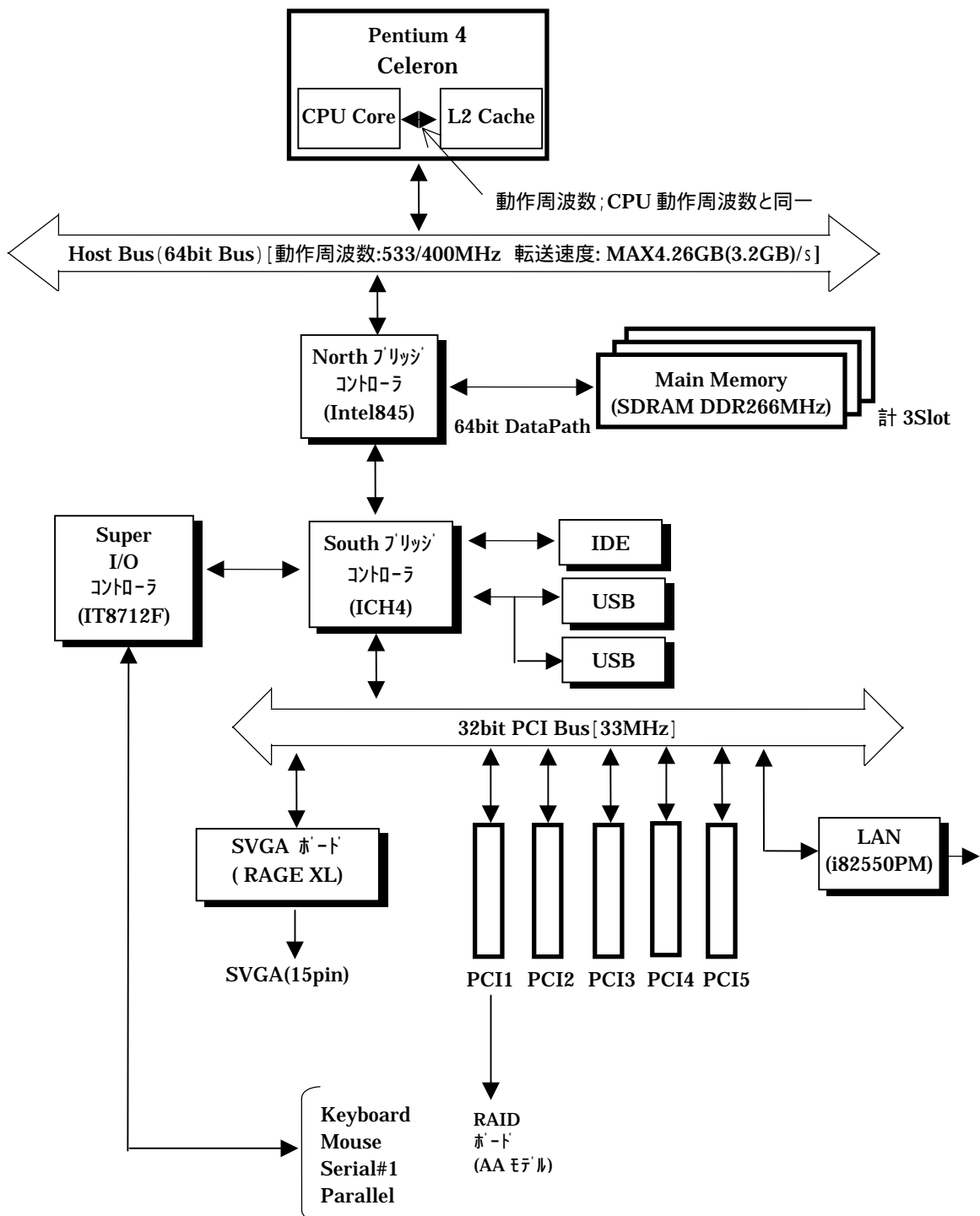
Microsoft® Windows Server™2003, Standard Edition を Windows Server2003, Standard Edition に
Microsoft® Windows® 2000 Server Network Operating System を Windows2000 Server に
省略させていただきます。

**(株)日立製作所エンタープライズサーバ事業部
第三サーバ開発本部
2004年6月作成(第3版)**

HA8000/10V アーキテクチャー

HA8000/10V AA,BA,CA には以下の特徴があります。

- ・ Intel 社製 Intel845E チップセット採用による 1way システムの実現
- ・ Pentium 4 プロセッサ(2.80GHz)および celeron プロセッサ(2.40GHz)の採用
- ・ FSB533MHz(Celeron プロセッサ 2.40GHz は 400MHz)、SDRAM ECC DDR266 Unbuffered DIMM 採用による高速 I/O の実現
- ・ メインメモリーを最大 2GB 搭載可能



HA8000/50V アーキテクチャー

HA8000/50V AA には以下の特徴があります。

- Intel 社製 E7501 チップセット採用による 2way システムの実現
- Intel Xeon プロセッサ (2.80BGHz)の採用
- ホストバス動作周波数が 533MHz に高速化され、ホストバスクロックと同期して高速なデータ転送を実現する 266MHz の DDR DIMM 採用により、最大 4.26GB/秒の高速なデータ転送速度 (CPU - メモリ間) を実現
- メインメモリーに Chipkill メモリー機能をサポートし最大 6GB 搭載可能 (サポートメモリ容量 512MB(256MB ボード × 2)においては chipkill 機能は未サポート。)
- Intel HyperThreading アーキテクチャによりひとつの CPU を論理的に 2 つの CPU のように動作させることが可能。

